

4月の安全衛生歳時記

2024年4月の安全衛生カレンダー

1日～9日

12月1日～4月30日 ◎安全衛生教育促進運動 (中央労働災害防止協会、厚生労働省)

1月15日～5月31日 ◎緑の募金 (国土緑化推進機構)

4月15日～5月14日 ◎みどりの月間

1日(月)・省エネルギーの日 (毎月1日、省エネルギー省資源対策推進会議)

- ・改正男女雇用機会均等法施行 1986 (昭和61)
- ・自転車ヘルメット着用が努力義務化 2023 (令和5)

★橋脚建設現場で水止めの鋼矢板が崩壊して8人死亡 東京荒川放水路 1969 (昭和44)

★パンクしたトラックが衝突炎上、農薬が流出し有毒ガスで1人死亡、消防隊員ら27人被害 愛知東名高速 1993 (平成5)

★焼却炉内壁のレンガ張替え作業中レンガが崩落、1人重体、4人重軽傷 山梨・笛吹 2015 (平成27)

★ビニールハウスで農作業中の80代男性2人熱中症で死亡 沖縄・うるま 2021 (令和3)

2日(火)◎発達障害啓発週間 (～8日、日本発達障害ネットワーク)・世界自閉症啓発デー (国連)

★ダム工事現場で残留ダイナマイトが爆発し11人死亡、2人負傷 佐賀・下蔵木ダム 1974 (昭和49)

3日(水)・愛林日 1895 (明治28)年、植林祭始まる

★低気圧による強風で東北新幹線が不通に 60本が運休、最長で9時間41分の遅れは開業以来最長 1994 (平成6)

★ビル解体現場で壁が崩落、作業員2人が下敷きになって死亡 東京・目黒 2003 (平成15)

★山林火災が発生し、ヘリコプターが散水した水に当たり消防団員が重傷 岩手・岩泉 2022 (令和4)

4日(木)・清明 (せいめい) 24節気のひとつ、南東風の吹くよい季節

・交通反戦デー (交通遺児を励ます会)

・歯周病予防デー

★第2東名高速道工事現場で足場が崩れ1人死亡、2人重傷 静岡・豊岡村 2002 (平成14)

★ガスタンク解体工事現場でガスバーナー使用中爆発、1人死亡、2人負傷 兵庫・西脇 2005 (平成17)

★農薬製造工場地下タンク内の沈殿物を清掃中、硫化水素中毒で2人死亡 山梨・甲府 2008 (平成20)

5日(金)★商店街に米軍戦闘機が墜落・炎上、4人死亡、27人負傷 東京・町田 1964 (昭和39)

★建物解体工事現場で、作業員2人がスレート屋根を踏み抜き転落して死亡 埼玉・三郷 2021 (令和3)

6日(土)◎春の全国交通安全運動 (～15日、警察庁ほか)

・東京池袋の60階建のビル「サンシャイン60」が完成、当時日本最高 1978 (昭和53)

★旧制四高 (現：金沢大学) ボート部が琵琶湖で合宿中、強風で転覆し遭難 11人全員死亡 滋賀 1941 (昭和16)

★低気圧で大荒れの海で漁船等遭難、死者不明 85人 北海道・羅臼 1959 (昭和34)

★製紙工場木材チップを運ぶ重機にひかれ、計器類監視作業中の作業員が死亡 徳島・阿南 2022 (令和4)

★陸上自衛隊のヘリコプターが宮古島沖で消息不明 後日海底から機体発見、乗員10人死亡 沖縄・宮古島 2023 (令和5)

7日(日)・世界保健デー WHO (世界保健機関)

・労働基準法公布の日 1947 (昭和22)、9月1日施行

★京急本線で土砂崩れによる脱線事故 大雨で崩れた斜面に乗り上げ、19人負傷 神奈川・横須賀 1997 (平成9)

★化学工場の実験棟で、塩素系の液体を高圧反応釜で圧縮中爆発、2人死傷 神奈川・横浜 2008 (平成20)

★宮城県沖で M7.2 の地震 死者4人、負傷者 296人、東日本大震災の余震 宮城 2011 (平成23)

8日(月)◎タイヤの日「8」でタイヤをイメージ8 (【一社】日本自動車タイヤ協会)

★地下鉄工事現場でガス漏れ調査中ガス爆発し群衆等 79人死亡、420人負傷 大阪・大淀 1970 (昭和45)

★燃焼炉内補修作業中、剥がれ落ちたレンガが当たり2人死亡 兵庫・高砂 2006 (平成18)

★民家で配管埋設工事中に土砂が崩落、作業員が生き埋めになり死亡 千葉・長南 2022 (令和4)

9日(火)・製品安全点検日 (毎月第2火曜、経済産業省)

★日航機「もく星号」が羽田から福岡に向かう途中大島三原山に墜落し 37人全員死亡 1952 (昭和27)

★高速船が漂流物に衝突、乗客・乗員 110人全員が重軽傷 海洋生物に衝突の可能性 佐多岬沖 2006 (平成18)

★ヘリコプターが山小屋を離陸直後墜落、2人死亡、8人負傷 北アルプス・水晶小屋 2007 (平成19)

★金属製品工場溶解炉に垂鉛と銅を入れた際水蒸気爆発、2人死亡、2人負傷 大阪・堺 2013 (平成25)

4月の安全衛生歳時記

10日~20日

- 10日(水)・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
・女性参政記念日 1946(昭和21)年、戦後初の総選挙で初めて女性参政権が行使され、39人の女性代議士が誕生
★瀬戸大橋(岡山-香川)が開通 1988(昭和63)、昭和53年着工からの犠牲者18人
- 11日(木)・新宿~立川に鉄道開通 甲武鉄道(現JR中央線) 1889(明治22)
★魚市場埠頭に停泊中の漁船からアンモニアが噴出し7人死亡、7人負傷 宮城・気仙沼 1982(昭和57)
★花火工場が爆発して10人死亡、周辺住宅等にも被害 鹿児島・西別府町 2003(平成15)
★土砂崩れで死者6人、家屋全壊4棟 風化による強度低下が原因 大分・中津 2018(平成30)
★空気注入中のクレーン車用タイヤ破裂、ホイールリングが頭を直撃死亡 福島・会津若松 2020(令和2)
★精錬工場で運搬作業中のホイールローダーにひかれて作業員死亡 福島・いわき 2022(令和4)
- 12日(金)・国際有人飛行デー 人類初の人工衛星による宇宙飛行(ソ連ガガーリン少佐) 1961(昭和36)
・東京、霞が関ビル完成、初の柔構造 36階建 1968(昭和43)
★海底炭鉱の坑内に海水が浸水して230人余が死亡 山口・宇部 1915(大正4)
★定期客船(39t)が航行中暗礁に乗り上げ沈没、死者不明113人 瀬戸内海・佐木島 1957(昭和32)
★製鉄所で真空排気管取替工事中、漏れたCOガスを吸って1人死亡1人重体 北海道・室蘭 20021(平成14)
★車が次々に歩行者をはね、運転していた男性ら8人死亡、男性にてんかんの持病 京都・祇園 2012(平成24)
- 13日(土)★「熱海大火」強風で14万1900㎡を焼き、979人が重軽傷。タバコのマッチの不始末が原因 静岡・熱海 1950(昭和25)
★電車が駅進入の際信号を見誤って停車中の電車に衝突、重軽傷146人 長野・上伊那 1989(平成1)
★淡路島付近を震源とする地震(M6.3)発生 負傷者35人、家屋全壊8棟・半壊101棟 2013(平成25)
- 14日(日)・独占禁止法公布 1947(昭和22)
★英の豪華客船「タイタニック号」が氷山に衝突して沈没 1,513人死亡 ニューファンドランド島沖 1912(明治45)
★捜査当局が全国約30都道府県のオウム真理教関連施設を一斉捜索 1995(平成7)
★大型クレーンが道路に転倒、歩行者1人死亡、トラック搭乗者ら3人重軽傷 東京・千代田 2009(平成21)
★「平成28年熊本地震」M6.5の地震(震度7)、16日にM7.3(震度7)の本震 関連死含め273人死亡 2016(平成28)
- 15日(月)○科学技術週間(発明の日[18日]を含む月曜~日曜、文部科学省)
★出光興産北海道製油所で重油直接脱硫装置が爆発、火災 北海道・苫小牧 2002(平成14)
★鋳鉄管製造工場で溶解炉のダクト清掃作業中CO中毒、2人死傷 兵庫・尼崎 2012(平成24)
★フランス・パリのノートルダム大聖堂で大規模火災、尖塔や屋根が崩落 2019(平成31)
★マンション地下駐車場で天井張替え工事中消火装置のCO噴出、4人死亡 東京・新宿 2021(令和3)
- 16日(火)・国民年金法公布 1959(昭和34)
★近鉄奈良線トンネル内電車火災 28人死亡、負傷者58人 奈良・生駒 1947(昭和22)
★火薬工場の爆薬圧填工室で火薬が爆発、3人死亡 広島・江田島 1996(平成8)
- 17日(水)・ハローワークの日(職安記念日) 1947(昭和22) 職業紹介所が「公共職業安定所」と改称、現在は「ハローワーク」の愛称
★鳥取市でフェーン現象下に大火、3人死亡、3,963人負傷 焼損棟数7,240 1952(昭和27)
★排水管理設作業中に土が崩れ生き埋め、1人死亡、2人重傷 宮城・栗原 2006(平成18)
- 18日(木)・発明の日 1885(明治18)年「特許法」の前身「専売特許条例」が公布、特許庁
・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)
★穀物貯蔵タンク内でならし作業中、下部が開いて2人生埋め死亡 横浜・中区 2011(平成23)
★大型プレス機で自動車部品加工中金型が破損、直撃されて死亡 茨城・古賀 2014(平成26)
★鉄鋼工場で解体作業中に屋根材が落下に、作業員が下敷きになり死亡 茨城・日立 2022(令和4)
- 19日(金)・穀雨(こくう) 24節気の一つ、穀物の発芽を促す時期
・食育の日(毎月19日、内閣府)
・地図の日 1800(寛政12)年のこの日、伊能忠敬が蝦夷地の測量に出発
★駅構内で信号・合図のトラブルで電車が貨物列車に衝突、69人負傷 群馬・上越線・群馬総社 1968(昭和43)
★流通センターの倉庫で荷下ろし中のフォークリフトが約1mの高さから転落、作業員死亡 埼玉・三郷 2022(令和4)
- 20日(土)・マイカーチェックデー(毎月20日)
・少年を非行から守る日(毎月第3土曜、警視庁)
・腰痛ゼロの日(4と20で「ようつうゼロ」の語呂合わせ)
★製鋼所で汚水槽洗浄作業中一酸化炭素が噴出、3人が倒れ1人死亡 大阪・大正 1999(平成11)
★金属プレス加工中、プレス機に挟まれて作業員が死亡 茨城・つくばみらい 2022(令和4)

4月の安全衛生歳時記

21日~30日

- 21日(日)★温泉ホテルで火災、3人死亡、56人負傷 静岡・河津 1986(昭和61)
- 22日(月)・アースデー(地球の日)地球や環境のことを考え、美しい自然環境に感謝する日(国連)
★化学工場で爆発火災、1人死亡、11人重軽傷、電気系統異常のためプラント緊急停止作業中 山口・和木 2012(平成24)
★新名神高速道工事現場で橋桁(長さ120m、1350t)が落下、2人死亡、8人負傷 兵庫・神戸 2016(平成28)
- 23日(火)・迎賓館(東京・港区・赤坂)完成、旧赤坂離宮を改装 1974(昭和48)
★化学工場でフェロニッケル・スラグ(鉍滓)による水蒸気爆発で28人が負傷 富山・富山 1970(昭和45)
★集団登校の列に無免許運転軽自動車が入り込み、小学生ら3人死亡7人重軽傷 京都・亀岡 2012(平成24)
★製紙工場で古紙搬入作業中古紙収集車の回転板上半身を挟まれて死亡 富山・富山 2020(令和2)
★病院新築工事現場で6階部分の床が抜け落ち作業者が5階部分に転落して死亡 東京・墨田 2021(令和3)
★観光船が沈没、乗船者26人が死亡・行方不明 無線機などに故障・整備不良 北海道・知床半島沖 2022(令和4)
- 24日(水)・植物学の日 1862(文久2)年、植物分類学者の牧野富太郎が生まれた日
・国際盲導犬の日(4月最終水曜日)
・「熱中症特別警戒アラート」運用開始(～10月23日、4月の第4水曜日～10月の第4水曜日、環境省)
★切れた架線にパンタグラフが絡まり電車が火災、木造車両が全焼 106人死亡、92人負傷 横浜・桜木町 1951(昭和26)
★造船所で冷凍運搬船修理中アンモニアが噴出して中毒、12人死亡、2人負傷 兵庫・相生 1957(昭和32)
- 25日(木)・国連記念日 1945(昭和20) 国際連合憲章が採択された
・世界マラリアデー(WHO)
★貨物船からスクラップを荷揚げ中混入していた雷管が爆発して11人が負傷 神戸港 1967(昭和42)
★ゴム工場でゴムのりに引火爆発して11人死亡、7人負傷 福岡・久留米 1969(昭和44)
★快速電車が脱線転覆してマンションに激突、107人死亡、549人負傷 兵庫・尼崎 2005(平成17)
★機械部品製造工場の溶解炉でスクラップ鉄を溶解中爆発、1人死亡、4人負傷 富山・氷見 2014(平成26)
- 26日(金)・世界知的財産デー(WIPO、世界知的所有権機関)
★チェルノブイリ原子力発電所(ソ連)で大爆発事故 1986(昭和61)
★台北発の中華航空エアバスが名古屋空港で墜落炎上、264人死亡 1994(平成6)
★キノコ工場で冷凍機等交換工事中火災、4人死亡 パーナーの火がウレタンに引火してシアン化ガス発生 2015(平成27)
- 27日(土)★阿蘇中岳が噴火爆発し修学旅行中の高校生ら6人死亡、負傷90人余 1953(昭和28)
★国有林火災で、消火の消防団員ら17人死亡 広島・呉 1971(昭和46)
★製薬工場で、塩酸除去作業中タンク内に転落し1人死亡、救助の5人火傷 東京・北区 2002(平成14)
- 28日(日)・労働安全衛生世界デー(仕事における安全と健康のための世界の日)(ILO)
・サンフランシスコ講和記念日 1952(昭和27)年、平和条約が発効し日本の主権が回復、国際社会に復帰
・サラ金規制のための「貸金業規正法」「出資法改正法」が成立 11月1日施行 1983(昭和58)
★製鉄所で高炉の修理中、高炉ガス(一酸化炭素)中毒で2人死亡、5人負傷 北海道・室蘭 1992(平成4)
★首都高速湾岸線のトンネルで車両4台による交通事故、火災 1人死亡、3人負傷 東京・大田区 2000(平成12)
★特殊浴場で火災発生、客1人・従業員2人が死亡 消防訓練の未実施、避難管理の不備など 北海道・札幌 2008(平成20)
★土木現場の2階部分の足場から作業員が転落、地面に埋められた鉄筋が背中に刺さり重傷 千葉・千葉 2022(令和4)
- 29日(月)・昭和の日(昭和天皇誕生日)
・歯肉炎予防デー(語呂合わせから)
★茨城・那珂湊町大火 1,508戸、18万全m焼失、6人負傷 茨城・那珂湊町 1947(昭和22)
★機械工場で溶解炉に冷却水が入って水蒸気爆発、1人死亡、9人負傷 山形・山形 1990(平成2)
★化学工場で原料をタンクに移す作業中火災、約2千㎡を焼き5時間後鎮火 愛媛・新居浜 2010(平成22)
★関越自動車道で、居眠り運転の高速バスが防音壁に激突して大破、7人死亡 群馬・藤岡 2012(平成24)
★製鋼所の地下室で酸素が漏れて爆発、1人死亡、救助の1人が重傷の火傷 佐賀・武生 2018(平成30)
- 30日(火)・図書館記念日 1950(昭和25)年のこの日図書館法が公布されたのを記念
★「宮城県北部地震」M6.5、最大震度4の地震、死者3人、負傷者276人、損壊家屋27,000棟以上 1962(昭和37)
★化学工場でバルブ操作ミスで塩素ガスが市街に流出し住民多数に被害 三重・四日市 1974(昭和49)
★炭鉱坑内で人員輸送車に暴走した無人車が激突、1人死亡、103人負傷 福岡・大牟田 1978(昭和53)
★大型物流倉庫の冷凍室から出火、5日間燃え続け4万4千㎡全焼 宮城・岩沼 2020(令和2)
★物流センターで積み込み作業中、横転した台車の下敷きになり作業員が死亡 広島・福山 2022(令和4)

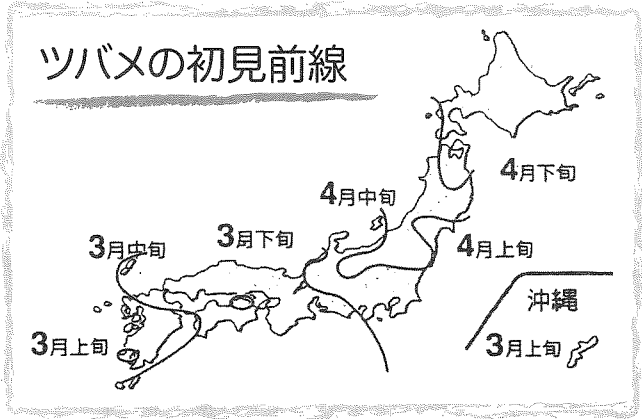
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

4月の安全衛生歳時記

4月の気象と防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	4:53	18:17	7.3	61	175.8
青森	4:58	18:17	8.5	65	179.1
岩手 (盛岡)	4:58	18:14	8.7	65	171.4
宮城 (仙台)	5:01	18:13	10.7	63	193.7
秋田	5:02	18:18	9.6	67	168.6
山形	5:03	18:15	10.2	62	175.9
福島	5:03	18:14	11.7	58	189.7
茨城 (水戸)	5:05	18:12	12.3	70	183.5
栃木 (宇都宮)	5:07	18:15	12.8	64	184.9
群馬 (前橋)	5:10	18:18	13.4	55	205.2
埼玉 (熊谷)	5:08	18:15	13.9	60	197.1
千葉 (銚子)	5:07	18:13	13.8	74	183.0
東京	5:08	18:14	14.3	62	178.1
神奈川 (横浜)	5:09	18:14	14.5	65	181.2
新潟	5:09	18:20	11.3	66	177.7
富山	5:17	18:26	12.3	68	173.6
石川 (金沢)	5:20	18:28	12.6	64	184.8
福井	5:22	18:29	12.8	68	172.3
山梨 (甲府)	5:13	18:19	14.0	57	206.1
長野	5:13	18:22	10.6	61	199.4
岐阜	5:20	18:26	14.5	59	200.0
静岡	5:15	18:19	15.2	65	189.7
愛知 (名古屋)	5:20	18:25	14.6	59	200.2
三重 (津)	5:22	18:26	14.2	64	192.7
滋賀 (彦根)	5:25	18:29	12.4	70	183.8
京都	5:25	18:30	14.4	59	177.3
大阪	5:26	18:30	15.2	58	192.6
兵庫 (神戸)	5:28	18:31	15.0	61	194.8
奈良	5:25	18:29	13.5	65	179.0
和歌山	5:28	18:31	15.1	61	196.9
鳥取	5:31	18:36	13.2	67	177.4
島根 (松江)	5:35	18:41	13.1	70	182.4
岡山	5:33	18:36	14.1	60	192.6
広島	5:39	18:42	14.8	61	191.9
山口 (下関)	5:43	18:46	14.7	67	187.6
徳島	5:31	18:33	15.0	62	197.9
香川 (高松)	5:32	18:36	14.7	62	194.5
愛媛 (松山)	5:38	18:40	14.8	62	190.8
高知	5:35	18:37	15.8	65	197.3
福岡	5:48	18:49	15.4	64	188.1
佐賀	5:49	18:49	15.3	65	186.7
長崎	5:51	18:51	15.6	67	178.1
熊本	5:47	18:47	15.8	65	184.0
大分	5:43	18:44	14.8	65	190.1
宮崎	5:46	18:44	16.4	70	186.0
鹿児島	5:49	18:47	17.1	68	175.6
沖縄 (那覇)	6:06	18:53	21.5	75	120.9

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



● 4月の前半は、移動性高気圧と低気圧が交互に通過するので、天気は数日の周期で変わります。低気圧が発達しながら東進すると、大荒れの天気になることがあります。

昭和34年4月6日に北海道羅臼沖で、強風によつて漁船等が大量遭難（死者不明85人）。平成6年4月3日には、強風で東北新幹線60本が運休。平成24年4月2日には、山形県酒田市で瞬間最大風速51.1¹、また和歌山県友ヶ島で、同じく41.9¹の台風並みの強風を記録するなど、この時期は低気圧による強風に要注意です。高所作業や火気の取扱いには十分注意しましょう。

● 4月後半には、高気圧に覆われて天気の安定した日も現れて日差しも強まっていますが、周期的に低気圧が通過し、発達した低気圧や気温の変化などにより、頭痛やめまいなどの気象病が起こりやすい日も現れます。

● 新入・転入者の配属、組織変更などで、職場の雰囲気も落ち着きを失いがちな時期です。また、4月末からの連休の前・中・後の点検・修理など、非常作業での事故・災害に要注意です。安全衛生の基本を守り、気候の変化に伴う体調管理にも留意して、事故・災害を防止しましょう。

4月の安全衛生歳時記

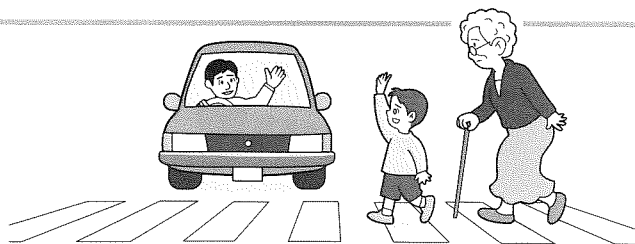
4月6日～15日

春の全国交通安全運動

4月10日：交通事故死ゼロを目指す日

事業所等職域における実施事項

- (1) 事業所等の業務形態に対応した交通安全教室等の開催
- (2) 飲酒運転・無免許運転・妨害運転等による交通事故の実態及び悪質性・危険性の周知
- (3) 横断歩道等における歩行者等優先義務の徹底と歩行者等に対する思いやりのある模範的な運転の実践
- (4) 交通法令を遵守し、体調面も考慮した安全運転の励行
- (5) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- (6) 自転車・特定小型原動機付自転車利用者に対するヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
- (7) 社内における広報啓発活動や、職員による地域の交通安全啓発活動への参加の促進
- (8) 安全運転管理者、運行管理者等による交通安全指導の徹底



4月6日(土)から15日(月)迄の10日間は、「令和4年 春の全国交通安全運動」、また、4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

(主催 内閣府・警察庁・都道府県・市区町村ほか)

この運動は「広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けること等により、交通事故防止の徹底を図ること」を目的として、毎年春と秋に実施されます。

《全国重点事項と主な推進項目》

① 子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践

・ 通学路を始めとした安全な道路交通環境の確保
・ 歩行者の交通ルール順守の徹底

② 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

・ 運転者の歩行者優先意識の徹底

・ 飲酒運転の根絶

・ 妨害運転の防止

・ 高齢運転者の交通事故防止

・ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

③ 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

・ 自転車利用者のヘルメット着用と安全確保
・ 自転車の交通ルール遵守の徹底

・ 特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底。

※事業所等職域の実施事項は上記の通りです。構内事故防止を含めて取り組みましょう。

4月の安全衛生歳時記

4月28日 労働安全衛生世界デー

世界の労働関連死 年間約300万人



4月28日は、「仕事における安全と健康のための世界の日」(労働安全衛生世界デー)です。

この日は、ILO(国際労働機関)が2003年に定めた国際的なイベントで、労働者の安全と健康を保護し、労働災害や職業病を予防するための取り組みを促進するためのキャンペーンを世界的に実施しています。また、労働に関連する死亡事故や、障害、職業病によってなくなった労働者を追悼する意味合いも持っています。

昨年秋、ILOは2019年に実施した調査を基に、作業関連疾患で死亡する労働者が年に世界で260万人、業務上の災害で死亡する労働者は33万人に上ると発表しました。

作業関連疾患は、職場環境や労働時間、作業による負荷などによって発症率が高まったり悪化したりする疾患のことで、今回の調査では循環器系疾患、悪性新生物、呼吸器系疾患の3つが上位でした。

業務上の災害による死亡は、農業、建設業、林業、漁業、製造業の5業種で年間20万件発生しています。中でも、死亡者の3人に1人は農業従事者が占めていました。

これらの労働関連死が、世界で年間約300万人に上るとしています。

また近年では、長時間労働やハラスメントによる心の病気も増えています。

この機会に、労働災害防止対策や安全衛生教育のありかた、化学物質管理など、安全衛生管理活動を見直し、立場を超えた連携で、改善・強化に取り組んでいきましょう。